

(電子メール施行)
農技第1954号
令和5年3月6日

関係機関長 様

兵庫県病虫害防除所長

令和4年度病虫害発生予報第8号を發表します。

令和4年度病虫害発生予報 第8号

向こう1か月の病虫害発生予想

作物名	病虫害名	発生予想	発生現況
トマト	疫病	やや少	少
	灰色かび病	やや少	少
	葉かび病	やや少	少
	コナジラミ類	やや多	平年並
	アブラムシ類	やや少	少
春キャベツ	黒腐病	少	少
	菌核病	やや多	平年並
	アブラムシ類	やや少	少
	モンシロチョウ	やや少	少
	コナガ	やや少	少
タマネギ	白色疫病	平年並	やや少
	細菌性病害	平年並	やや少
	べと病	平年並	少
	灰色腐敗病	やや少	少
	ネギアザミウマ	やや多	やや少
春レタス	灰色かび病	平年並	やや少
	菌核病	平年並	やや少
	腐敗病	やや多	やや多
イチゴ	アブラムシ類	やや少	少
	ハダニ類	平年並	やや少
	アザミウマ類	平年並	やや少

* 気象の概況

近畿地方 1か月予報
(3月4日から4月3日までの天候見通し)

令和5年3月2日
大阪管区气象台 発表

<予想される向こう1か月の天候>

近畿地方 1か月予報(03/04~04/03)		
2023年03月02日14時30分 大阪管区气象台 発表		
特に注意を要する事項	期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。	
向こう1か月 03/04~04/03	天候	天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
	気温	平均気温は、高い確率60%です。
	降水量	降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。
	日照時間	日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。
1週目 03/04~03/10	気温	1週目は、高い確率80%です。
2週目 03/11~03/17	気温	2週目は、高い確率50%です。
3~4週目 03/18~03/31	気温	3~4週目は、高い確率50%です。

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	近畿地方	向こう1か月 03/04~04/03	
		1週目 03/04~03/10	
		2週目 03/11~03/17	
		3~4週目 03/18~03/31	
降水量	近畿地方	向こう1か月 03/04~04/03	
日照時間	近畿地方	向こう1か月 03/04~04/03	

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

* 発生概況及び防除対策上の留意点

トマト

1 【疫病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
- (2) 予報の根拠
- ア 2月の調査では発生は確認されていない。
- イ 今後の1か月予報によると、気温は高いと予想されている。施設内は多湿条件になりやすく本病の発生に助長的であるが、現時点で発生は確認されていないことから、今後はやや少ない発生になると考えられる。

2 【灰色かび病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
- (2) 予報の根拠
- ア 2月の調査では発生は確認されていない。
- イ 今後の1か月予報によると、気温は高いと予想されている。施設内は多湿条件になりやすく本病の発生に助長的であるが、現時点で発生は確認されていないことから、今後はやや少ない発生になると考えられる。

3 【葉かび病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
- (2) 予報の根拠
- ア 2月の調査では発生は確認されていない。
- イ 今後の1か月予報によると、気温は高いと予想されている。施設内は多湿条件になりやすく本病の発生に助長的であるが、現時点で発生は確認されていないことから、今後はやや少ない発生になると考えられる。

4 【コナジラミ類】

- (1) 予報の内容 発生量：やや多
- (2) 予報の根拠
- ア 2月中旬の現地圃場^ほでは発生株率2.2%（昨年度同期3.0%）、発生圃場率16.7%（同12.5%）と平年並の発生が確認されている。
- イ 今後の1か月予報によると、気温は高いと予想されており、本種の増殖に好適な条件が続くことからやや多い発生になると考えられる。
- (3) 防除上の留意点
- ア 施設開口部からの成虫の侵入を防止する。防虫ネットは0.4mm以下の目合いの製品を用いると侵入防止効果が高い。
- イ 薬剤散布にあたっては、薬液が葉裏に十分かかるようにして散布ムラが生じないようにする。
- ウ 防除薬剤は、病害虫・雑草防除指導指針等を参考にし、農薬使用基準を守ること。

5 【アブラムシ類】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
- (2) 予報の根拠
- ア 2月の調査では発生は確認されていない。
- イ 今後の1か月予報によると、気温は高いと予想されており、有翅虫の飛び込みなどの活動、増殖に適した条件となるため、発生が見られるようになると考えられる。

春キャベツ

1 【黒腐病】

- (1) 予報の内容 発生量：少
- (2) 予報の根拠
- ア 2月の調査では発生は確認されていない。
- イ 今後の1か月予報によると、降水量は少ない～平年並と予想されており、本病に不適な条件であるため、少ない発生のまま推移すると考えられる。

2 【菌核病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや多
- (2) 予報の根拠
- ア 2月上旬の現地圃場では地域差はあるが株率2.8%（過去5か年平均値0.2%）とやや多い発生が確認されている。
- イ 今後の1か月予報によると、降水量は少ない～平年並と予想されているが、今後気温は上昇し、にわか雨などの降水により、発生が助長され、本病はやや多い発生になると考えられる。
- (3) 防除上の留意点
- ア 発病株は早期に発見し、菌核が形成される前に抜き取って圃場外で処分する。発病が認められた圃場では薬剤散布を実施する。
- イ 薬剤防除は、病害虫・雑草防除指導指針、地域の防除暦等を参考にし、農薬使用基準を守ること。また、感受性低下を避けるために同系統の薬剤の連用は控える。

3 【アブラムシ類】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
- (2) 予報の根拠
- ア 2月の調査では発生は確認されていない。
- イ 今後の1か月予報によると、気温は高いと予想されており、有翅虫の飛び込みなどの活動、増殖に適した条件となるため、発生が見られるようになると考えられる。

4 【モンシロチョウ】

(1) 予報の内容 発生量：やや少

(2) 予報の根拠

ア 2月の調査では発生は確認されていない。

イ 本種は蛹で越冬しており、例年3月中旬頃から成虫の発生が見られる。今後の1か月予報によると、気温は高いと予想されており、春を迎えて気温が上昇することから、成虫の発生に伴って、幼虫の発生も見られるようになると思われる。

5 【コナガ】

(1) 予報の内容 発生量：やや少

(2) 予報の根拠

ア 2月の調査では発生は確認されていない。

イ 本種は例年春期以降に発生が見られる。今後の1か月予報によると、気温は高いと予想されており、本種に好適な条件となるため、発生が見られるようになると思われる。

タマネギ

1 【白色疫病】

(1) 予報の内容 発生量：平年並

(2) 予報の根拠

ア 2月の場内圃場（加西市、南あわじ市）では発生は確認されていないが、現地圃場ではわずかに発生が確認されている。

イ 今後の1か月予報によると、気温の上昇と少ないながらも降水が予想されており、本病に助長的であることから、平年並の発生になると考えられる。

2 【細菌性病害】

(1) 予報の内容 発生量：平年並

(2) 予報の根拠

ア 2月の場内圃場（加西市、南あわじ市）では発生は確認されていないが、現地圃場ではわずかに発生が確認されている。

イ 今後の1か月予報によると、気温の上昇と少ないながらも降水が予想されており、本病に助長的であることから、平年並の発生になると考えられる。

3 【べと病】

(1) 予報の内容 発生量：平年並

(2) 予報の根拠

ア 2月の調査では発生は確認されていない。

イ 本病は例年3月以降に発生が見られる。今後の1か月予報によると、気温は高い、降水量は少ない～平年並と予想されており、気象条件的に発生が見られ始め、平年並になると考えられる。

4 【灰色腐敗病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
- (2) 予報の根拠
- ア 2月の調査では発生は確認されていない。
- イ 今後の1か月予報によると、気温は高い、降水量は少ない～平年並と予想されており、発生が見られ始めると考えられる。

5 【ネギアザミウマ】

- (1) 予報の内容 発生量：やや多
- (2) 予報の根拠
- ア 2月の場内圃場（加西市、南あわじ市）では発生は確認されていないが、極早生・早生を対象に実施した現地調査では1株あたり虫数1.55頭（過去3か年平均値2.45頭）、中生・晩生で0.02頭（同0.13頭）の発生が確認されている。
- イ 今後、極早生・早生品種の収穫が進むにつれて、発生虫が中生・晩生品種に移動する。また、今後の1か月予報によると、気温は高いと予想されており、本種に好適な条件になるため、中生・晩生品種ではやや多い発生になると考えられる。
- (3) 防除上の留意点
- ア 本種は、タマネギえそ条斑病の病原であるアイリス黄斑ウイルス（IYSV）を媒介することが知られている。今後、本種の活動が活発になることに伴って、IYSVを新たに獲得・媒介する機会が増え、タマネギえそ条斑病の発生につながるため、多発しないように努める。
- イ 薬剤防除を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針等を参考にし、農薬使用基準を守る。また、感受性低下を避けるために同系統の薬剤の連用は控える。
- 病害虫・雑草防除指導指針
(<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>)
- ウ 圃場内外の雑草や収穫後の残渣は、本種の増殖源やIYSVの感染源になるので、除草や残渣処分を徹底する。

春レタス

1 【灰色かび病】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並
- (2) 予報の根拠
- ア 2月中旬の場内圃場（南あわじ市）では発生は確認されていないが、現地圃場では発病株率0.1%（前年同期0.6%）とやや少ない発生が確認されている。
- イ 今後の1か月予報によると、気温の上昇と少ないながらも降水が予想されており、本病に助長的であることから、平年並の発生になると考えられる。

2 【菌核病】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並
- (2) 予報の根拠
- ア 2月中旬の場内圃場（南あわじ市）で発生は確認されていないが、現地圃場では発病株率0.1%（前年同期0.3%）とやや少ない発生が確認されている。

イ 今後の1か月予報によると、降水量は少ない～平年並と予想されているが、今後気温は上昇し、にわか雨などの降水により、発生が助長され、本病は平年並の発生になると考えられる。

3 【腐敗病】

(1) 予報の内容

発生量：やや多

(2) 予報の根拠

ア 2月の現地圃場では発病株率0.8%（前年同期0.6%）、発生圃場率25.0%（同21.9%）とやや多い発生が確認されている。

イ 今後の1か月予報によると、気温は高く、降水量は少ない～平年並と予想されており、やや多い発生のまま推移すると考えられる。

(3) 防除上の留意点

ア 発病前からの予防散布を心がける。

イ トンネル被覆を行っている場合、完全に密封しているとトンネル内の湿度が高くなり、発病を助長するため、片側換気などの管理を行う。

ウ 防除薬剤は、病害虫・雑草防除指導指針等を参考にし、農薬使用基準を守ること。

病害虫・雑草防除指導指針

(<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>)

イチゴ

1 【アブラムシ類】

(1) 予報の内容

発生量：やや少

(2) 予報の根拠

ア 2月の調査では発生は確認されていない。

イ 今後の1か月予報によると、気温は高いと予想されており、特に施設内はアブラムシ類に好適な条件になりやすいことから、今後、発生が見られるようにになると考えられる。

2 【ハダニ類】

(1) 予報の内容

発生量：平年並

(2) 予報の根拠

ア 2月の場内圃場（加西市）ではわずかに発生が確認されている。

イ 今後の1か月予報によると、気温は高いと予想されており、特に施設内はハダニ類に好適な条件になりやすいことから、平年並の発生になると考えられる。

3 【アザミウマ類】

(1) 予報の内容

発生量：平年並

(2) 予報の根拠

ア 2月の場内圃場（加西市）ではわずかに発生が確認されている。

イ 今後の1か月予報によると、気温は高いと予想されており、特に施設内はアザ

ミウマ類に好適な条件になりやすいことから、平年並の発生になると考えられる。

* この情報は、兵庫県病害虫防除所ホームページに掲載
(<http://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/>)

病害虫防除所の公式Twitterを開設しました！
発生予察情報など病害虫に関する情報を提供しますので、是非フォローお願いします。
Twitterアカウント(http://twitter.com/hyogo_boujoshou)

